

令和 7 年度 地域連携推進会議実施報告

1. 地域連携推進会議について

当事業所では、利用者の皆様へのサービスの透明性・質の確保、地域との連携、利用者の権利擁護等を目的として、地域連携推進会議を開催しています。令和 7 年度は、地域関係者、保護者、事業所関係者等に参加いただき、グループホームにおける生活の様子や支援状況、地域との連携、施設環境等について意見交換を行いました。

2. 開催概要

回	開催日	主な内容
第 1 回	令和 7 年 10 月 15 日	利用者の生活状況、サービスの質・透明性、経営状況、地域との連携、苦情・相談、事故・ヒヤリハット、権利擁護、グループホーム入居ニーズ等について報告・意見交換
第 2 回	令和 7 年 11 月 5 日	グループホームの実際の生活環境や支援の様子を確認し、利用者の様子、職員の対応、職員間のフォロー体制、施設環境等について意見交換

3. 第 1 回 会議での主な報告・意見交換

- ・グループホームの平均年齢は 36 歳、障害支援区分の平均は 4.7 で、区分 5・6 の重度者が多い状況について共有しました。
- ・利用状況や稼働状況、事業所の経営状況について報告しました。
- ・人材確保、特に夜勤職員の確保が課題となっていることを共有しました。
- ・町内会の美化活動や防災訓練、地域行事への参加など、地域との交流・連携について報告しました。
- ・苦情・相談、事故・ヒヤリハット等の状況について報告し、支援の質の向上につなげることを確認しました。
- ・利用者の権利擁護や、グループホームへの入居ニーズ・待機状況等について意見交換しました。

4. 第 2 回 施設訪問でいただいた主な意見

- ・利用者が落ち着いて生活している様子が確認できた。
- ・職員が慌てることなく、落ち着いて利用者に対応している様子が見られた。
- ・職員同士のフォロー体制があり、連携して支援していることが確認できた。
- ・利用者一人ひとりに合わせた対応ができているとの意見があった。
- ・職員と利用者との関わりが自然で、安心感のある支援が行われているとの意見があった。
- ・実際の支援の様子を確認することができ、良かったとの感想をいただいた。

- ・施設環境についても意見をいただき、窓の清掃など、環境整備を見直す機会となった。

5. 今後の取り組み

今回の地域連携推進会議でいただいたご意見を、日々の支援や施設環境の改善に活かしていきます。今後も、地域の皆様やご家族等との意見交換を大切にしながら、利用者一人ひとりが安心して地域で暮らすことができる支援の充実と、地域に開かれた事業所づくりに取り組んでいきます。

障害福祉サポートセンターりとりらいふ

共同生活援助事業所 ふぁみりあ